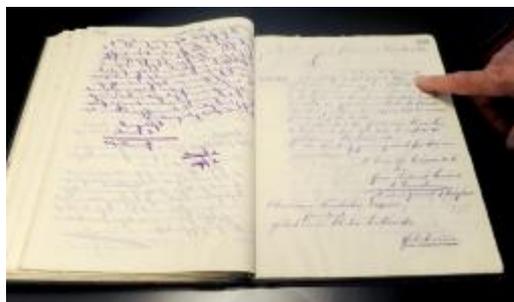


駐日スイス領事の手紙など発見 19世紀の貴重な資料千ページ

【ベルン共同】スイス北部の民家で、19世紀後半の駐日スイス領事が記した手紙など千ページに及ぶ資料が見つかり、所有者が30日、スイス連邦政府に寄贈した。発見したチューリヒ大のハンス・トムセン教授（東洋美術史）は「スイスなど当時の欧州諸国と日本の関係を知る上で貴重な資料だ」としている。

領事は1886～93年に横浜にあったスイス領事館の領事を務めたアーノルド・ドゥムリン氏。当時の日本とスイスの関係を調べているトムセン氏がスイス北部フラウエンフェルトにあるドゥムリン氏の孫の自宅で資料を発見した。（共同通信）



スイス北部で見つかった資料＝30日、ベルン（共同）

【2015年07月31日 06時40分】

Copyright (c) 1996-2015 The Kyoto Shimbun Co.,Ltd. All rights reserved.

各ページの記事・写真は転用を禁じます。著作権は京都新聞社ならびに一部共同通信社に帰属します

[ネットワーク上の著作権について](#) [新聞・通信社が発信する情報をご利用の皆様へ](#)(日本新聞協会)

[電子メディアおよび関連事業における個人情報の取り扱いについて](#)